

東京科学大学病院内科専門研修プログラム特別連携施設情報

目次

1.	田中医院・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
2.	新松戸診療所・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
3.	あおぞら診療所・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6
4.	メモリークリニック・・・・・・・・・・・・・・・・・・	8
5.	文京根津クリニック・・・・・・・・・・・・・・・・・・	10
6.	ゆしまクリニック・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	12
7.	賛育会病院・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	14
8.	セツルメント診療所・・・・・・・・・・・・・・・・・・	16
9.	リバーサイド読売ビル診療所・・・・・・・・・・・・	18
10.	管工業健康保険組合健康管理センター・・・・・・・・	20
11.	本多病院・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	22
12.	信愛クリニック・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	24

1. 医療法人 慶仁会 田中医院

責任者名 田中 次郎

1. 特別連携施設の概要・特徴

1) 病床数・患者数情報

病床数	入院病床無しの診療所です
外来患者数	20～50 名／日

2) 指導医数情報

指導医数（人）※常勤医のみ	1
備考	日本内科学会指導医 1 名(非常勤)、日本内科学会認定内科医 2 名(非常勤)、日本老年医学会指導医 1 名(非常勤)、日本老年医学会専門医 1 名(非常勤)、放射線科専門医 1 名(常勤)

3) 施設の特徴

- ・専攻医が、内科専門医として内科的医療の実践に必要な知識と技能とを修得します。
- ・本診療所は、玉埦県和光市にあり、消化器内視鏡などの検査を主とした健診業務を主に行っています。
- ・専攻医は、本診療所にて、週 1 日午前または午後に検査業務や診察業務を行いながら研修します。

2. 連携施設における研修環境について

1) 指導責任者から専攻医へのメッセージ

指導責任者名 田中 次郎

田中医院は埼玉県和光市にある、大学からアクセスの良い診療所です。健診業務の胃部検査では、バリウムを扱っており、高齢者健診や小児の予防接種などを通して、地域に根付いた総合診療のあり方を学ぶことが出来ます。

健診結果で精査・加療が必要と認められたり、治療中の受診者には、かかりつけ医や適切な医療機関との連携をはかったり、入院加療が必要な状況と判断した場合には、入院加療を行うための医療連携の経験もすることができます。

予防医学（二次予防）について内科医師に求められる専門的知識を総合的に学ぶことができます。

2) 経験できる疾患群

カリキュラムで示す内科領域 13 領域のうち、総合内科、消化器、呼吸器、循環器、内分泌、代謝、腎臓、呼吸器、アレルギーの分野で健診施設として可能な疾患を経験することができます。

3) 経験できる技術・技能

内科専門医に必要な技術・技能を診療所という枠組みのなかで、経験していただきます。健診・健診後の医療機関への受診勧奨など総合的な判断や指導を経験していただけます。

4) 経験できる地域医療・診療連携

田中医院は埼玉県和光市にある診療所です。大学からアクセスの良い診療所であり、主に健診診断や地域のかかり付け患者の診療や相談を受けています。急性期疾患や精密検査が必要な受診者もあり地域中核医療機関への入院診療へつなぐ流れやかかりつけ医との医療連携を経験することができます。本診療所は、東京科学大学病院老年病内科と医療連携があります。

5) 学会認定施設（内科系）

なし

2. 新松戸診療所

責任者名 栄原 智文

1. 特別連携施設の概要・特徴

1) 病床数・患者数情報

病床数	病床なしの診療所です
外来患者数	10,331 （2024 年度）
	※診療日平均 46 人

2) 指導医数情報

指導医数（人）※常勤医のみ	1
備考	日本内科学会認定内科医（1 名）、日本プライマリーケア連合学会認定家庭医療専門医（1 名）、日本内科学会認定総合内科専門医（1 名）

3) 施設の特徴

- ・専攻医が一般内科外来診療を行いながら、内科専門医として内科的医療の実践に必要な知識と技能を修得します。
- ・本診療所は、千葉県松戸市にあり、一般内科診療、24 時間・3 6 5 日対応の在宅支援診療所としての訪問診療、健診業務を主に行っています。
- ・専攻医は、本診療所にて、週半日外来診療を行いながら研修します。

2. 連携施設における研修環境について

1) 指導責任者から専攻医へのメッセージ

指導責任者名 栄原 智文

・急性・慢性のcommon diseasesや、各種の癌、肺炎や心筋梗塞、脳卒中の救急患者などを幅広く経験することが可能です。また、健康診断業務を行っており、健診後の指導や必要な内科的加療を経験します。複雑な検査や癌の精査、重症救急で入院加療が必要なときなどは、東葛病院や国立がんセンター東病院、松戸市立総合医療センター、新松戸中央病院などに紹介します。

・他方、これらの病院から紹介された癌末期患者の緩和ケアや看取り往診、グループホームへの訪問診療などにも積極的に取り組んでいます。

また、同じビルの中に、新松戸歯科、新松戸メンタルクリニック、たんば訪問看護ステーションがあり、密接な連携協力を進めて、〈かかりつけ医〉としての機能を発揮しています。

・松戸市や医師会の、夜間・休日診療、障害者介護給付審査会、学校医、防災会議、地域ケア会議などにも積極的に参加しています。こうして、地域の民主的包括的な医療・福祉・介護のネットワーク形成をめざしているのです。

・隣に日本語学校があり、中国、ベトナム、バングラデシュなど、アジア諸国出身で日本語が不自由な、貧しい留学生患者さんや生活保護受給者、生活困難者も数多く受診します。当診療所は〈無料低額診療制度〉も導入しており、必要な患者さんに適用しています。疾病の社会的要因に注目し、格差がひどくなる社会で、最も困難な状況におかれた患者さんにも寄り添っていきたい、というのが当診療所の基本的な姿勢です。

2) 経験できる疾患群

カリキュラムで示す内科領域 13 領域のうち、総合内科、消化器、循環器、呼吸器、代謝、腎臓、膠原病で外来診療が可能な疾患を経験することができます。

3) 経験できる技術・技能

内科専攻医に必要な技術・技能を、地域の診療所という枠組みのなかで経験して頂きます。健診、健診後の精査、地域の内科外来としての日常診療も経験して頂きます。

4) 経験できる地域医療・診療連携

地域に深く根ざし、患者・家族はもちろんのこと地域を丸ごと診る地域医療を経験できます。かかりつけ医としての外来診療、看取りも含めた24時間対応の訪問診療、保健予防活動、病診連携や介護・福祉分野との連携の経験を通じて、地域包括ケアの最前線の取り組みを研修します。

5) 学会認定施設（内科系）

なし

3. 医療法人財団千葉健愛会 あおぞら診療所

責任者名 川越 正平

1. 特別連携施設の概要・特徴

1) 病床数・患者数情報

病床数	なし
外来患者数	2,946 （2024 年度延べ）
	※在宅医療提供患者含

2) 指導医数情報

指導医数（人）※常勤医のみ	4
備考	

3) 施設の特徴

【臨床】在宅医療と外来診療が診療の柱となる。患者さんの生活や人生、とりまく家族や地域を把握して対応することを重視する。

【連携】開設以来、門前薬局、訪問看護ステーション、入院病床、居宅介護支援事業所などの機能を自らの組織として構えるのではなく、あえて、地域の機関や専門職種の方々と連携協働する形で実践する。

【教育】当院開設の理念として、「地域で医師を育てる」ことを大きな柱にすえて活動している。月に一度開催する医師カンファレンスでは、生物・心理・社会・倫理的側面、そして医療・介護・福祉の側面から一人一人の患者について深く検討する機会を確保する。研修医の地域医療研修をはじめとして、医学生や看護学生、さらには開業医や病院看護師など、さまざまな医師、看護師、その他専門職種の研修を受け入れており、お互いにとっての研鑽機会、交流機会となる。

【研究】医師カンファレンスにおいて抽出された臨床命題について臨床研究に取り組むための時間と指導体制を確保している。

【地域活動】地域包括支援センターが遭遇した医療関連困難事例に対するアウトリーチ活動や、小中学校においてがん教育や認知症啓発を行う健康啓発授業である「まちっこプロジェクト」、地域ケア会議等に積極的に関わる機会を確保する。

2. 連携施設における研修環境について

1) 指導責任者から専攻医へのメッセージ

指導責任者名 川越 正平

高次医療機関では、医療依存度が高い急性の病態や、診断が困難なケースの原因精査・治療を主に経験することが可能である。一方で、地域の現場においてこそ、医療・介護・福祉を統合し、包括的に把握・考察・対応する経験を積むことが可能となる。

当院は診療において地域の基幹的な役割を担っていることから、特に慢性疾患や進行性疾患の進行期の診療を経験できることに加えて、社会的背景も含めた困難な事例についても効率よく経験することができる。また、上述の「臨床」「連携」「教育」「研究」「地域活動」などの広い範囲にわたる研鑽の機会を設けている。そして、臨床を通じて直面する様々な地域課題について、解決に向けた取り組みにコミットする経験機会を提供する。いずれも、高次機能病院で経験することが難しいものである。

6 か月～2 年間にわたり継続して経験することによって、プライマリケアの継続性を含む高い研修効果を期待できる。そして、高次医療機関が担うべき役割を相対化して見る視点が身に着き、改めて専攻医自身が自分のキャリアパスを考える大切な経験機会を提供する。

2) 経験できる疾患群

悪性腫瘍、神経難病、認知症、慢性呼吸不全、慢性心不全、糖尿病を始めとした生活習慣病など多疾病並存状態の診療を経験できる。また、主病が同一であっても、多様な状態像の患者の診療を経験できる。例えば、がん患者の場合、化学療法のため病院への通院を継続しながら、外来または在宅で併診し、伴走支援する経験や、BSCとなった患者の在宅緩和ケアを経験することもできる。神経難病患者の例として、パーキンソン病患者の薬剤調整に限らず、生活の場でフレイル・サルコペニア予防のためにリハビリテーション栄養を含めた療養上の指導経験を重ね、看取りに至るまでの診療経験を積むことも可能である。また、難易度の高い例として高次脳機能障害や精神疾患、認知症を合併する患者や、大病院では出会う機会が得られにくい例として糖尿病治療中断歴があるなど、適切な医療につながっていなかった患者の診療も経験することができる。

3) 経験できる技術・技能

医療の提供のみならず、患者さんを包括的・総合的に把握し対応する視点・ノウハウを身に着ける（例：糖尿病や慢性心不全、慢性呼吸不全などの疾病管理における食事や日常生活の具体的な把握・助言）。地域ケアのさまざまなネットワークや、医療介護連携、多職種協働、多機関協働についての理解を深めるため、さまざまな連携医療機関や介護保険事業所での院外研修（調剤薬局、訪問看護ステーション、訪問歯科診療、訪問歯科衛生指導、居宅介護支援事業所など）、介護認定審査会傍聴、医師会として市から一部委託を受けた事業である在宅医療・介護連携推進事業、"糖尿病性腎症重症化予防"や"骨折二次予防"、重層的支援体制整備事業に取り組む経験機会も得られる。また、常勤医が取り組む産業医や学校医、医療的ケア児の通う放課後デイサービスの嘱託医といった臨床外活動を知る機会を通じて、ライフコースを踏まえた健康づくりや包括的支援に関する理解を深めることができる。これらのノウハウは、プライマリケアの現場のみならず、病院や臨床教育の現場、行政で勤務する際にも役に立つ内容である。

4) 経験できる地域医療・診療連携

訪問診療や外来診療を通じて、主治医機能を継続的に経験する。「疾病の軌道」を踏まえ、医療・介護・福祉等専門職と協働して、継続的な意思決定支援に取り組む。経験や達成度に応じ多様な経験機会を提供する。例えば、主治医として退院時共同指導やケアマネジャーが主催する会議に参加して助言するなどの他、多職種で構成する外来を経験することも可能である。

5) 学会認定施設（内科系）

なし

4. 医療法人社団 創知会 メモリークリニックお茶の水

責任者名 朝田 隆

1. 特別連携施設の概要・特徴

1) 病床数・患者数情報

病床数	病床なしの診療所です
外来患者数	15～30名／日

2) 指導医数情報

指導医数（人）※常勤医のみ	2
備考	日本老年医学会指導医2名(常勤1名、非常勤1名)、日本内科学会認定内科医3名(非常勤)、日本老年精神医学会専門医2名(常勤1名、非常勤1名)

3) 施設の特徴

・専攻医が、認知症及び地域包括診療を行いながら、内科専門医として内科的総合医療の実践に必要な知識と技能とを修得します。
・専攻医は、本診療所にて、週1日午前または午後に診察業務を行いながら研修します。

2. 連携施設における研修環境について

1) 指導責任者から専攻医へのメッセージ

指導責任者名 朝田 隆

メモリークリニックは東京都文京区湯島にある診療所です。認知症診療及び地域包括診療を行っております。
年齢に関わらず軽度認知機能障害や認知症の心理学的検査、薬物療法、治験、リハビリテーションを扱っているのが特徴です。
クリニックという規模でありながら、総合的な内科・精神科診療を実践しています。

2) 経験できる疾患群

カリキュラムで示す内科領域13領域のうち、総合内科、循環器、内分泌、代謝、腎臓、神経、呼吸器、アレルギーの分野で健診施設として可能な疾患を経験することができます。

3) 経験できる技術・技能

内科専門医に必要な技術・技能を診療所という枠組みのなかで、経験していただきます。大学医療機関への受診勧奨など総合的な判断や指導を経験していただけます。

4) 経験できる地域医療・診療連携

メモリークリニックは東京都文京区にある診療所です。区中央部にある診療所であり、主に認知症と生活習慣病の診療を行っています。
本クリニックは、東京科学大学病院などと医療連携があり、専攻医の研修状況は、内科専門研修プログラム研修委員会に随時報告できる体制です。

5) 学会認定施設（内科系）

なし

5. 医療法人社団 杏生会 文京根津クリニック

責任者名 任 博

1. 特別連携施設の概要・特徴

1) 病床数・患者数情報

病床数	病床なしの診療所です
外来患者数	訪問診療患者数 170 名／月

2) 指導医数情報

指導医数（人）※常勤医のみ	1
備考	

3) 施設の特徴

・本診療所は、機能強化型在宅療養支援診療所として在宅医療に特化した診療所です。主に高齢者を中心に年間 3,000 回以上の訪問診療、往診等を行っています。

・専攻医が、様々な疾患の訪問診療を行いながら、内科専門医として内科的医療の実践に必要な知識と技能とを習得します。

2. 連携施設における研修環境について

1) 指導責任者から専攻医へのメッセージ

指導責任者名 任 博

文京根津クリニックは東京都文京区根津に位置し、大学からもアクセスのよい診療所です。高齢者の在宅医療に特化しており、慢性疾患から認知症、悪性腫瘍ターミナルやお看取りを含めた幅広い疾患、また社会的背景も含めた困難症例の訪問診療を経験することができます。地域の医療機関、薬局、訪問看護ステーションや介護職との連携を密に行うことを通じて地域包括ケアシステムを俯瞰し地域包括ケアシステムにおける在宅診療所の在り方、在宅主治医の在り方を研修することができます。

2) 経験できる疾患群

カリキュラムで示す内科領域 13 領域のうち、総合内科、消化器、呼吸器、循環器、内分泌、代謝、腎臓、呼吸器、アレルギーの分野で健診施設として可能な疾患を経験することができます。

3) 経験できる技術・技能

内科専攻医に必要な技術・技能を、地域の診療所という枠組みのなかで経験して頂きます。

4) 経験できる地域医療・診療連携

訪問診療、訪問栄養指導、訪問看護ステーション、訪問リハビリテーション、居宅介護支援事業所、訪問歯科診療

5) 学会認定施設（内科系）

なし

6. 医療法人社団湖歩会 ゆしまクリニック

責任者名 大野 喜久郎

1. 特別連携施設の概要・特徴

1) 病床数・患者数情報

病床数	病床なしの診療所です
外来患者数	2,500 (2015年)

2) 指導医数情報

指導医数（人）※常勤医のみ	1
備考	日本内科学会指導医 0 名、日本脳神経外科学会認定専門医 1 名

3) 施設の特徴

・専攻医が、一般内科外来診療や胸腹部・頸動脈エコーなどの検査業務を行いながら、内科専門医として内科的医療の実践に必要な知識と技能とを修得します。

・本診療所は、東京都文京区にあり、一般内科診療や胸腹部・頸動脈エコーなどの検査業務や健診業務を行っています。

・専攻医は、本診療所にて、週 1 日午前に外来診療や検査業務を行いながら研修します。

2. 連携施設における研修環境について

1) 指導責任者から専攻医へのメッセージ

指導責任者名 大野 喜久郎

ゆしまクリニックは東京都文京区にある、湯島地域の診療所です。感冒、胃腸炎などの一般内科疾患や生活習慣病といった慢性期疾患の加療を幅広く経験することができます。また、新規患者での心筋梗塞や脳卒中などの急性期内科的疾患の診断も経験できます。検査では、心電図、胸腹部および頸部頸動脈エコーといった技術も学ぶことができ、総合内科的な分野と循環器および消化器分野、脳血管障害分野等の技術と知識を研修で得ることができます。健康診断業務も行っており、健診後の指導や内科的加療を研修できます。新規患者、またはかかりつけ患者に入院加療が必要な場合には、入院加療を行うための医療連携を経験することができます。

2) 経験できる疾患群

カリキュラムで示す内科領域 13 領域のうち、総合内科、消化器、循環器、内分泌、代謝、腎臓、呼吸器、アレルギー、脳神経内科の分野で外来診療が可能な疾患を経験することができます。

3) 経験できる技術・技能

内科専門医に必要な技術・技能を、地域の診療所という枠組みのなかで経験して頂きます。健診・健診後の精査・地域の内科外来としての日常診療も経験して頂きます。

4) 経験できる地域医療・診療連携

当診療所は東京都文京区にある診療所です。文京区にある地域の診療所であり、一般内科診療、健診などを行っており、なかには急性期疾患で来院の患者もいるため、地域中核医療機関や大学病院への入院診療へつなぐ流れや医療連携を経験することができます。本診療所は、東京科学大学病院 循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、老年病内科、内分泌代謝内科、腎臓内科、そしてその他の診療科などと医療連携があり、専攻医の研修状況は、内科専門研修プログラム研修委員会に随時報告できる体制です。

5) 学会認定施設（内科系）

なし

7. 賛育会病院

責任者名 本多 三男

1. 特別連携施設の概要・特徴

1) 病床数・患者数情報

病床数	199 床
外来患者数	129,252 (2015年度)

2) 指導医数情報

指導医数（人）※常勤医のみ	なし
備考	

3) 施設の特徴

- ・ 東京都周産期母子医療センター認定病院
- ・ 周産期母子医療、成人・高齢者医療、終末期医療を三本柱に掲げ、地域に根差した診療を行っている。

2. 連携施設における研修環境について

1) 指導責任者から専攻医へのメッセージ

指導責任者名 本多 三男

- ・ 初診患者から通院患者まで
- ・ 地域のかかりつけ病院として風邪や頭痛等の一般的な病気や、慢性的な生活習慣病等幅広く経験を積んでいただけます。

2) 経験できる疾患群

カリキュラムで示す内科領域13領域のうち、消化器、循環器、内分泌、代謝、呼吸器、神経、アレルギー、救急の分野で外来診療が可能な疾患を経験することができます。

3) 経験できる技術・技能

内科専門医に必要な技術や技能を地域の病院という枠組みの中で積んでいただけます。
また周産期母子医療センターのため妊婦患者への投薬等の経験も積んでいただけます。

4) 経験できる地域医療・診療連携

地域医療の視点より専門領域ではなく生活圏内での疾病及び高齢者との関わりを、地域包括ケアシステムの一部として経験を積んでいただけます。

5) 学会認定施設（内科系）

なし

8. セツルメント診療所

責任者名 下山 省二

1. 特別連携施設の概要・特徴

1) 病床数・患者数情報

病床数	19床
外来患者数	30,080 (2014 年度)
	※診療日平均 人

2) 指導医数情報

指導医数（人）※常勤医のみ	2
備考	日本消化器病学会専門医 1 名、日本消化器内視鏡学会専門医 1 名

3) 施設の特徴

・専攻医が、初診を含む一般内科外来診療、訪問診療、診療所病棟医からのコンサルテーションによる病棟患者の診療をおこないながら、内科専門医として内科的医療の実践に必要な知識と技能とを習得します。

・当院は 19 床の有床診療所で、地域のかかりつけ医療機関として常時救急対応をおこなっています。内科救急での身体診察・検査結果解釈・治療方針決定を経験し、内科領域の救急対応を習得します。

・急性疾患・慢性疾患ともに、入院加療が必要な場合には、重症度判断ののち、当院入院・高次病院搬送などの判断をおこなうことで、基幹病院との病診連携の役割を経験します。

・各種専門外来を有し、必要に応じて専門外来の診療を研修できます。

2. 連携施設における研修環境について

1) 指導責任者から専攻医へのメッセージ

指導責任者名 下山 省二

・セツルメント診療所は東京都足立区東和地区の診療所です。地域に根ざした第一線の診療所として、感冒、腹痛、頭痛などコモンディジーズを中心とした急性期疾患診療と、生活習慣病を中心とした慢性期疾患診療とを幅広く経験し、各種画像診断を 2 次読影医とともに研修することができます。

・訪問診療医として悪性腫瘍ターミナルケアを含めた幅広い疾患を在宅診療の場で経験することができます。

・特定健康診査を含めた、足立区が展開する各種健康診断を行っており、指導・治療の必要性に応じて、必要な診察・結果解釈・診療方針決定を研修することができます。

・初診を含む外来担当医として経験を積むとともに、地域のかかりつけ医療機関として、内科救急を含む急性疾患や慢性疾患いずれに対してもトリアージを経験できます。

・認知症外来を設けており、その外来担当医として身体診察・画像診断・検査所見解釈・治療方針決定を研修できます。

2) 経験できる疾患群

カリキュラムで示す内科領域 13 領域のうち、総合内科、消化器、循環器、内分泌、代謝、腎臓、呼吸器、神経、アレルギー、感染症、救急の分野で外来診療が可能な疾患を経験することができます。

3) 経験できる技術・技能

内科専門医に必要な技術・技能を、地域の診療所という枠組みのなかで経験していただきます。救急、急性疾患、慢性疾患、健診・健診後の精査を通じて、トリアージおよび内科外来としての日常診療も経験していただけます。また訪問診療医として在宅診療を経験していただけます。

4) 経験できる地域医療・診療連携

セツルメント診療所は東京都足立区東和地区にある19床の有床診療所で、地域のかかりつけ診療所として一般内科診療、健診、訪問診療、病棟診療を行っています。病状により高次病院搬送の適応患者もいるため、急性疾患・慢性疾患ともに、地域中核医療機関への入院診療へつなぐ流れや医療連携を経験することができます。当院は、東京科学大学病院 神経内科などと医療連携があり、専攻医の研修状況は、内科専門研修プログラム研修委員会に報告できます。

5) 学会認定施設（内科系）

なし

9. リバーサイド読売ビル診療所

責任者名 市岡 正彦

1. 特別連携施設の概要・特徴

1) 病床数・患者数情報

病床数	病床なしの診療所です
外来患者数	健診受診者14,407名（2014年度）

2) 指導医数情報

指導医数（人）※常勤医のみ	2
備考	日本内科学会指導医0名、日本内科学会認定内科医1名、日本消化器病学会専門医0名、日本呼吸器学会認定医1名

3) 施設の特徴

・専攻医が、消化器内視鏡の検査業務・診察業務を行いながら、内科専門医として内科的医療の実践に必要な知識と技能とを修得します。

・本診療所は、東京都中央区にあり、消化器内視鏡などの検査を主とした健診業務を主に行っています。

・専攻医は、本診療所にて、週1日午前または午後に検査業務や診察業務を行いながら研修します。

2. 連携施設における研修環境について

1) 指導責任者から専攻医へのメッセージ

指導責任者名 市岡 正彦

リバーサイド読売ビル診療所は東京都中央区にある、区中央部地域の診療所です。健診業務の胃部検査では、消化器内視鏡を扱っており消化器内視鏡の技術を学ぶことができます。また診察や予防接種など総合内科的な分野を研修することもできます。また健診後の指導や内科的診察を研修することもできます。健診結果で精査・加療が必要と認められたり、治療中の受診者には、かかりつけ医や適切な医療機関との連携をはかったり、入院加療が必要な状況と判断した場合には、入院加療を行うための医療連携の経験もすることができます。予防医学（二次予防）について内科医師に求められる専門的知識を総合的に学ぶことができます。

2) 経験できる疾患群

カリキュラムで示す内科領域13領域のうち、総合内科、消化器、循環器、内分泌、代謝、腎臓、呼吸器、アレルギーの分野で健診施設として可能な疾患を経験することができます。

3) 経験できる技術・技能

内科専門医に必要な技術・技能を診療所という枠組みのなかで、経験していただきます。健診・健診後の医療機関への受診勧奨など総合的な判断や指導を経験していただけます。

4) 経験できる地域医療・診療連携

リバーサイド読売ビル診療所は東京都中央区にある診療所です。区中央部にある診療所であり、主に健診診断を行っています。中には急性期疾患や精密検査が必要な受診者もあり地域中核医療機関への入院診療へつなぐ流れやかかりつけ医との医療連携を経験することができます。本診療所は、東京科学大学病院 消化器内科などと医療連携があり、専攻医の研修状況は、内科専門研修プログラム研修委員会に随時報告できる体制です。

5) 学会認定施設（内科系）

なし

1 0 . 管工業健康保険組合健康管理センター

責任者名 平田 りえ

1. 特別連携施設の概要・特徴

1) 病床数・患者数情報

病床数	病床無しの検診センター・診療所です
外来患者数	3944名（2024年度 二次健診外来 延べ）

2) 指導医数情報

指導医数（人）※常勤医のみ	2
備考	日本内科学会指導医 0 名、日本内科学会認定内科医 2 名、日本消化器病学会専門医 1 名

3) 施設の特徴

専攻医が、一般内科外来診療、消化器内視鏡または腹部エコーなどの検査業務行いながら、内科専門医として内科的医療の実践に必要な知識と技能とを修得します。

- ・本診療所は、東京都千代田区にあり、健診と消化器内視鏡・腹部エコーなどの検査、二次健診外来などの健診診療業務を主に行っています。
- ・専攻医は、本診療所にて、週 1 日午前または午後に来外診療や検査業務を行いながら研修します。

2. 連携施設における研修環境について

1) 指導責任者から専攻医へのメッセージ

指導責任者名 平田 りえ

管工業健康保険組合健康管理センターは東京都千代田区にある、職域の健康管理センター・診療所です。健診業務と生活習慣病を主体とした生活習慣指導、健診の二次健診としての精査や診療を行い、医療機関やかかりつけ医との連携を図るなど、一次予防・二次予防について幅広く経験することができます。消化器内科領域では、肝臓の精密健診外来と、検査においては上部消化管内視鏡や腹部エコーを扱っており、消化器分野の技術と知識を研修することができます。また、検査結果の説明や指導を行うとともに、必要時には適切な医療機関との連携を図ったり、入院加療が必要な場合は入院を行うための医療連携を経験することもできます。

2) 経験できる疾患群

カリキュラムで示す内科領域 13 領域のうち、総合内科、消化器、呼吸器、循環器、内分泌、代謝、腎臓、アレルギーの分野で健診施設で診療が可能な疾患を経験することができます。

3) 経験できる技術・技能

内科専門医に必要な技術・技能を、職域の健康管理センター・診療所という枠組みのなかで、経験していただきます。健診と健診後の精査としての診療も経験していただけます。

4) 経験できる地域医療・診療連携

管工業健康保険組合健康管理センターは東京都千代田区にある診療所です。職域の診療所であり、健診と一次健診から発生する精密健診など中心に診療を行っており、中には急性期疾患での来院患者もいるため、地域中核医療機関への入院診療へつなぐ流れや医療連携を経験することができます。本診療所は、東京科学大学病院などと医療連携があります。

5) 学会認定施設（内科系）

なし

11. 本多病院

責任者名 石川 輝

1. 特別連携施設の概要・特徴

1) 病床数・患者数情報

病床数	47
外来患者数	40名／日 （2024年度）

2) 指導医数情報

指導医数（人）※常勤医のみ	2
備考	

3) 施設の特徴

【1. 院内体制】 東京都大田区に位置する47床のコンパクトな病院（地域包括ケア病棟中心） 急性期から在宅医療までを一貫して提供し、患者の「暮らし」を重視した医療を実践 外来・入院・訪問診療のいずれにも家庭医療・総合診療の視点が組み込まれている 【2. 地域とのつながり】 訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所、地域包括支援センターとの連携が密接 同法人内に老健施設（コージーハウスはすぬま）を併設し、施設医療との橋渡し経験が豊富に積める 地域住民、行政、学校、企業などとの顔の見える関係性づくりを重視 【3. 教育・育成】 医学生・初期研修医・専攻医を積極的に受け入れ、成長段階に応じた実践教育を展開 若手医師が活躍する「学びながら病院を育てる現場」で、教育と病院運営が融合 振り返り・フィードバックなど、参加型教育文化を大切にしている 研修テーマを自分で提案・実践できる柔軟性と自由度の高さが特徴 【4. 組織文化・ビジョン】 若手の声が通る、風通しの良い職場文化 「すべての人に、温かい安心を」を理念に掲げ、医療と人間性を両立した実践を志向 心理的安全性と自律的成長が共存する職場を目指している

2. 連携施設における研修環境について

1) 指導責任者から専攻医へのメッセージ

指導責任者名 石川 輝

本多病院は東京都大田区にある47床の小規模病院です。羽田空港にほど近い地域で、高齢化の進む都市部の“今”を肌で感じながら、地域に根ざした総合診療を実践できます。 急性期から慢性期、在宅医療、さらに介護施設までをシームレスにつなぐ「地域包括ケア」の中核として、医療・介護・福祉との連携を重視した実地研修を行っています。病院併設の在宅診療部門や、地域の訪問看護・ケアマネジャー・地域包括支援センターとの連携を通じて、机上では得られない“顔の見える連携”の実践を学ぶことができます。 また、家庭医療・総合診療の視点を活かし、複数の慢性疾患を抱える高齢患者への対応、社会的課題を含む支援困難事例への介入、そして多職種チームとの協働など、都市型コミュニティホスピタルとしての醍醐味を体感してもらえるはずです。 若手医師主体で再建を進めている当院では、「学ぶ・変える・育てる」ことを恐れず、日々進化を続けています。専攻医の皆さんには、病院の一員としてこの現場の熱量を体験し、ともに地域の未来を育む仲間となってくれることを期待しています。
--

2) 経験できる疾患群

生活習慣病・慢性疾患

・高血圧、糖尿病、心不全、COPD、脂質異常症 など

高齢者特有の疾患・症候群

・認知症、フレイル、褥瘡、せん妄、誤嚥性肺炎、転倒・骨折 など

よくある急性疾患

・発熱、下痢・便秘、膀胱炎、皮膚感染、軽症外傷 など

心の不調・心身の症状

・うつ、不眠、不安、心身症 など

在宅医療・看取りに関わる疾患

・がん末期、非がんの終末期（心不全・認知症）、難病、栄養管理 など

3) 経験できる技術・技能

診療の初期対応力（主訴からの仮説構築・鑑別診断・トリアージなど）を実践的に学べます

慢性疾患（高血圧、糖尿病、心不全など）の継続的なマネジメントと生活指導が経験できます

高齢者医療における多疾患併存やポリファーマシーの評価・対応に取り組むことができます

病棟での医療処置（採血、静脈確保、褥瘡処置、尿道カテーテル挿入、皮膚縫合など）に習熟できます

在宅医療の現場では、訪問診療、看取り対応、在宅酸素管理、点滴やバルーン管理を実践的に学べます

地域包括ケアの中心として、訪問看護、ケアマネジャー、地域包括支援センターとの連携経験が豊富に得られます

多職種カンファレンスや退院前カンファレンスの運営・調整を通じて、連携力・調整力を養うことができます

精神的・社会的課題を含む患者に対する心身医学的アプローチや医療福祉連携のスキルを身につけられます

医学生・後輩への教育やフィードバックを行い、指導者としての第一歩を踏み出すことができます

若手医師主導の病院再建プロジェクトに参画し、組織運営や医療マネジメントの視点を体験できます

4) 経験できる地域医療・診療連携

訪問診療・訪問看護との連携

・在宅療養中の患者に対する訪問看護ステーションとの連携、緊急対応指示、看取り支援

ケアマネジャー・地域包括支援センターとの連携

・生活支援・介護サービス調整、独居や高齢者虐待リスクへの介入、サービス担当者会議参加

施設（老健・グループホーム・特養など）との診療連携

・施設往診、健康管理、急変時の対応、入院・退院支援

急性期病院・専門医療機関との連携

・必要な専門診療への紹介・逆紹介、退院支援・地域カンファレンス参加

多職種連携カンファレンスの運営と調整

・退院前カンファレンス、医療・介護関係者を巻き込んだ情報共有

地域活動への参画

・町内会・自治体主催の健康講座、地域住民との交流イベント

5) 学会認定施設（内科系）

なし

12. 医療法人社団 奏愛会 信愛クリニック

責任者名 井出 広幸

1. 特別連携施設の概要・特徴

1) 病床数・患者数情報

病床数	入院病床無しの診療所です
外来患者数	56,583 (2019 年度)

2) 指導医数情報

指導医数 (人) ※常勤医のみ	
備考	(常勤) ・日本内科学会認定医 4 名・日本内科学会総合内科専門医 2 名・プライマリケア連合学会認定医/指導医 1 名・日本消化器病学会専門医 2 名・日本消化器内視鏡学会専門医 2 名・日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医 1 名 (非常勤) ・日本内科学会認定医 6 名・日本内科学会総合内科専門医 1 名・プライマリケア連合学会認定医/指導医 1 名・日本消化器病学会専門医 1 名・日本消化器内視鏡学会専門医 1 名・頭痛専門医 1 名・脳神経外科専門医 1 名・日本脳卒中学会専門医 1 名・高血圧薬治療専門医 1 名・救急科専門医 1 名

3) 施設の特徴

・専攻医が一般内科外来診療・心療内科診療・訪問診療・消化器内視鏡または腹部エコー検査を行いながら、内科専門医として内科的医療の実践に必要な知識と技能を習得します。 ・本診療所は神奈川県鎌倉市にあり、消化器内視鏡やエコーなどの検査と一般内科、心療内科の診察、訪問診療を主におこなっています。 ・専攻医は、本診療所にて週 1 日午前または午後診療業務を行いながら研修します。

2. 連携施設における研修環境について

1) 指導責任者から専攻医へのメッセージ

指導責任者名 井出 広幸
信愛クリニックは神奈川県鎌倉市にあり、大船駅から徒歩 8 分のアクセスが良い診療所です。 ・プライマリケア領域の一般的な内科外来診療を、標準化された診療態勢の元で体系的に学び、指導医からのフィードバックを受けることができます。 ・心療内科領域については問診や鑑別診断のポイント、認知行動療法など内科医として習得すべき点に焦点を当てた診療を学ぶことができます。患者の理解や背景を考慮し、投薬のみに頼らない診療を行います。 ・訪問診療医として悪性腫瘍ターミナルケアを含めた幅広い疾患を在宅医療の場で経験することができます。 ・希望者は上部消化管内視鏡のトレーニングが可能です。 ・指導経験豊富な超音波技師による心臓・腹部などの超音波検査指導を受けることができます。

2) 経験できる疾患群

カリキュラムで示す内科領域 13 領域のうち、総合内科、消化器、循環器、内分泌、代謝、腎臓、呼吸器、神経、アレルギー、感染症、救急の分野で外来診療が可能な疾患を経験することができます。
--

3) 経験できる技術・技能

内科専攻医に必要な技術・技能を地域の診療所という枠組みのなかで経験していただきます。健診・健診後の精査・地域の内科外来としての日常診療も経験していただきます。

4) 経験できる地域医療・診療連携

信愛クリニックは神奈川県鎌倉市にある診療所です。主に一般内科診療・心療内科診療、内視鏡検査・エコー検査を行っており、中には急性期疾患での来院患者があり、地域中核医療機関への入院診療へつなぐ流れや、かかりつけ医との医療連携を経験することができます。また、訪問診療も行っており、悪性腫瘍ターミナルケアを含めた幅広い疾患を在宅医療の場で経験することができます。本診療所は東京科学大学病院総合診療科指定研修クリニックに認定されています。また、広島大学総合診療から後期研修クリニックとして6ヶ月間の研修を2回受け入れました。専攻医の研修状況は、内科専門研修プログラム研修委員会に報告できます。

5) 学会認定施設（内科系）

なし